

第 32 回 インフォーマル ミーティング

日本核医学技術学会 関東地方会 会 長 濱崎 千裕
学術委員長 立木 一博

皆様におかれましてはご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

今回のテーマは

「基礎からみつめる核医学の未来」です。

PET/CT が普及し、SPECT・CT を設置する施設も増えてまいりました。それにともない、核医学画像の変質、進化は私たちの想像を超えて進んでいます。果たして、今までの核医学画像と比べ、何が進化し、何が変化し、何が変わらないのかを核医学を愛する皆様と一緒に見つめたいと思います。

広大なテーマの中から学術委員会が注目した「核医学の未来」は、SPECT の定量です。昔から SPECT データを定量することは困難と言われており、撮像機器、解析に影響されない安定した測定方法や解析方法が存在していないことも事実です。

今回は、「核医学の未来」を基礎からみつめるということで、

- SPECT データの定量値に大きく影響する「補正」についての教育講演
- 機器メーカー2社が取り組んでいる最新の補正技術と定量測定に関する技術講演
- 定量測定が確立している PET の定量についての教育講演

を準備致しました。

また、2016 年春に α 線内用療法薬剤の発売が予定されておりますので、その取り扱いについて、基礎から教えていただきます。

- 話題提供として塩化ラジウム (Ra-223) と放射線管理についての講演

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

関東地方会 学術委員会

日時 2016 年 1 月 9 日 (土) 15:00~18:00

会場 東邦大学医療センター大橋病院
教育棟 1F 臨床講堂

参加費 会員：1000 円
非会員：2000 円(当日入会された場合は 1000 円)

認定単位 日本核医学技術学会専門技術者 5 点
日本核医学専門技師認定機構 10 点

問い合わせ先 tattsun@med.toho-u.ac.jp 立木(たちき)



第 32 回 インフォーマル ミーティング

日時 2016年1月9日(土) 15:00~18:00
会場 東邦大学医療センター大橋病院 (東京都目黒区大橋 2-17-6) 教育棟 1F 臨床講堂
参加費 会員: 1000円 非会員: 2000円 (当日入会された場合は 1000円)
認定単位 日本核医学技術学会専門技術者 5点 日本核医学専門技師認定機構 10点

◇◇◇ プログラム ◇◇◇

14:30 受付開始

15:00 ~ 15:05 開会の言葉 東邦大学医療センター大橋病院 濱崎 千裕 先生

15:05 ~ 15:35

◆ 話題提供 ◆

司会: 国際医療福祉大学 福喜多 博義 先生

「Ra-223 塩化ラジウムを用いた RI 内用療法と放射線管理について」

日本アイソトープ協会 中村 吉秀 先生

15:35 ~ 16:25

◆ 教育講演 ◆

司会: 千葉大学医学部附属病院 澤田 晃一 先生

「超基礎: SPECT の補正」

杏林大学 山本 智朗 先生

16:25 ~ 16:35 関連学会、研究会からのお知らせ → 休憩

16:35 ~ 17:10

◆ 技術講演 ◆

司会: 上尾中央総合病院 岡村 聡志 先生

「GE 社の SPECT 定量への取り組み」

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 斉藤 憲彦 先生

「SIEMENS 社の SPECT 定量への取り組み」

シーメンス・ジャパン株式会社 佐藤 伸一 先生

17:10 ~ 17:15 第 33 回日本核医学技術学会関東地方会総会(群馬)のご案内

17:15 ~ 18:05

◆ 教育講演 ◆

司会: 埼玉県立小児医療センター 若林 康治 先生

「PET における定量」

東京都健康長寿医療センター研究所 我妻 慧 先生

18:05 ~ 18:10 閉会の言葉

東邦大学医療センター大森病院 立木 一博 先生

主催 日本核医学技術学会 関東地方会